

職員による自己評価

A環境面

構造上、バリアフリーではないが
困ったときなど職員に話しかけやすい雰囲気
づくりができています。

B児童への支援内容

個別支援計画に沿った支援が行われ、共有の場
としてケースミーティングが積極的に行われ
ている。

今年度から作業療法士の先生をお招きし定期的
に研修を受ける機会が作れてセラピーにも
活かしている。

C関係機関との連携

- ・幼稚園の先生の訪問、また関係機関との連携
などで職員が訪問する機会が増えた。
- ・他機関との連携にはまだ乏しい部分がある。

D保護者への説明責任・信頼関係

面談を密に行うことで相違なく関係性が保た
れているように感じる。

E非常対応

虐待防止の研修の機会の確保をしているがま
だ周知できていなかった。
次年度の課題となる。

保護者による評価

A環境面

構造上での問題に対してご指摘なし。

B児童への支援内容

個別での指導でのこと、療育方針についてご理
解いただけていると推察される。

C事業所からの情報発信

父母の会の活動について事業所からの発信がな
いため、評価が大きくわかれた箇所である。

D非常対応

事業所の方針にご理解いただけていると推察さ
れる。

事業所内での分析

【共通点】

- ・個別支援計画書に沿ったサービス内容にご理解・ご協力が得られている。
- ・レテのサービス内容に概ね満足いただけている。
- ・保護者との面談の時間を設けることで方向性が一致できている。

【相違点】

- ・父母の会の活動や、参加の機会についてニーズを把握する。
- ・すべてのお子さんに対し楽しく通所いただけるよう努めているが
もっと個別対応での介入が必要なケースも見えてきている。

分析・検討してみても…

事業所の強み

- ・専門的な行動介入を実施している。
- ・個別のアセスメントにより目標を明確化している。
- ・SVの時間を活用し保護者と療育の方向性の一致を図っている。
- ・小さい事業所であるから職員間の意見交換が盛んに行われサービスに活かすことができる

事業所の改善点

- ・地域連携が乏しく感じる。
- ・職員がもっと関係機関や地域と連携することにより、お子様が外での生活を過ごしやすくなるようにしていきたい。
- ・保護者へお渡しする書類の準備をより丁寧に行う。
- ・毎回のフィードバックの際、保護者のみならずお子様にも配慮し行えるようにする。

事業所の改善への取り組み

次年度より本格的始動する保育所等訪問を活用し、お子様の生活に対して広く支援していきたい。保護者・お子様が安心して通所いただけるよう、環境整備の一つとして書類の整備もおこなってきたい。

現在ご満足いただけている保護者との情報共有はこれまで通り継続していく。支援の方向性を確認しながら、お子様の発達をより促していけるように努めていく。

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

- ・ご多忙の中、たくさんのご意見をいただいたことに感謝したい。
- ・今年度より自由記述欄を設けることでより具体的なお意見をお聞かせいただくことができた。
- ・お子様が楽しく通所いただけていること、レンテの療育内容にご支持いただけていることがとても励みになり、次年度も職員一同一丸となって精進していきたい。

事業所名 発達療育レンテ市川

担当者 宇野恭兵